

許すな！ 高齢者「うば捨て」 若者「使い捨て」

# 暮らしを守る県政へ転換を

9月県議会で日本共産党は、国民に耐え難い苦しみを強いる自民・公明の政治を告発するとともに、その自民党型政治そのものとなっている堂本県政に転換をせまり、論戦しました。庶民増税反対、公立病院を守れ、中小企業の支援を、環境破壊の巨大道路は中止せよ等々、県民の切実な声を届けて奮闘しました。

日本共産党

## 労働者派遣法の抜本改正を

### 自民・公明・民主が意見書を否決

若者をまるでモノのように「使い捨て」

る、非人間的な働かせ方が、現代の『蟹工船』として日本社会の大問題となっています。派遣労働、とりわけ携帯電話一本で呼び出され、低賃金・劣悪な労働条件で働かされる日雇い派遣は、「格差社会」の大きな要因となっており、その根絶と改善は急務です。「人間らしく働きたい」、いま全国で青年の闘いが始まっています。利益のためには労働のルールを破壊して恥じない、大企業・財界の身勝手を鋭く告発する日本共産党・志位和夫委員長の国会質問が、その闘いを励ま

しています。

9月議会で日本共産党は、労働者派遣は常用型派遣を基本とし日雇い派遣は禁止する、派遣先労働者との間で同一労働・同一賃金を保障する、等々を内容とする労働者派遣法の抜本改正を求める意見書を提出、趣旨説明を行いました。しかし自民・公明、民主が否決しました。財界の利益には指一本ふれられない政党に、青年の未来はたくせません。



### 県営住宅廃止に賛成 子どもの医療費完全無料化に反対

## 民主党で生活がよくなるでしょうか

知事提案の全議案が、自民・公明と民主の賛成で可決。県営住宅の廃止議案や、不正を働いた業者との契約議案が含まれます。子どもの医療費を完全無料に、と願う請願も民主は否決。自民・公明と足並みそろえる民主党で、暮らしは守れるでしょうか。

### 後期高齢者医療制度は 中止せよ“共同提案”

75歳という年齢で一律に線を引いて、高齢者だけを別の医療制度に囲い込み、劣悪な医療しか認めないという後期高齢者医療制度。世界に例を見ないこの差別医療にたいし、怒りの声が列島に渦巻いています。県民からの請願にもとづき、日本共産党は他会派と共同して、この制度の中止を求める意見書を提出し、討論しました。自民・公明が否決し、県民の願いを葬りました。

### 堂本 県政 庶民・中小企業には森林環境税 大企業への法人事業税超過課税は見送り

すでに大減税の優遇を受けてきた大企業に、そのほんの一部を還元してもらう——他県でも実施している法人事業税の「上乗せ課税」について、堂本知事は、日本共産党の一貫した実施要求に対し、今年度前半には結論を出す約束してきました。9月議会で示したその結論は何と、景気後退のため「実施は困難」、というもの。

その一方で知事は、環境を守るためとの口実で、県民と中小零細企業がその9

割を負担することになる「仮称・森林環境税」の導入に意欲を示しました。いま新たな税を負担すべきは誰か、その現実をまるでわきまえない逆立ちと言う他ありません。

### 消費税の増税も

麻生首相が3年後の消費税増税を明言。知事も、地方財源確保のためとの理由で消費税増税を推進。自民党の政策そのものの県政です。